



開校記念式典より 昭和28年5月5日撮影 (記念誌より)



『五号発刊によせて』

同窓会長 佐々木 元彦

謹んで初春のお慶びを申し上げます。会員の皆様には、新しい年をご多幸のうちにごやかに迎えられることと存じます。

昨年は、晴天続きの猛暑に見舞われて、各地で水不足に悩まされ、日夜水との戦いにご尽力された同窓の皆様方、県内にあつては、『わかしゃち国体』が催され、開催成功にご尽力された、会員の方々も多数おみえのことと存じます。

政界にあつては、選挙制度改革に伴う政界再編成の変遷、経済界にあつては、円高・リストラと新聞紙上で毎日のように伝えられました。今年も波乱な一年が予想されます。

本会も会員数が、一万七千名となり多方面にわたつて、それぞれの分野で、社会の荒波のなかで日々活躍されていることでしょう。校歌の一節にあります、若人の命なり、若人の力なり、若人の命なり、を噛み締めて、青春を思い起こし、今年は希望の明るい年にしましょう。

同窓会報四号は、昨年一月にお届けしてから、早いもので一年になります。半年間さきみ程度で会報を順次発刊できることを念じていたが、会報作成に関係していただく、当事者の皆様のご努力とご尽力を考えると、継続して発刊してゆく事の難しさを感じます。

同窓会報基金は、別記一覧の会員の皆様より多数お寄せいただき、なかには数口お寄せいただいた会員もあり、同窓会本会の基金を取り崩すことなく、会報五号を発刊できることになりました。会員の皆様のご協力に対し、ここで厚くお礼申し上げます。なお、七年度も一層のご協力を賜ります様お願い申し上げます。

本会では、会員名簿の充実を常に行き届けていますが、種々の連絡不行き届きの点があることと存じますので、この会報等を通じてご鞭撻いただければ幸いです。

会員名簿の不明者のなかに、知人や知人の名を発見されたら、ただちに新住所・電話番号・勤務先の社名等を、事務局宛に連絡してください。後日、彼又は彼女から感謝されるであろうことは間違いありません。

母校では昭和三十三年一月竣工した講堂兼体育館が、老朽化に伴っていよいよ本年取り壊されます。

入学式・熱高祭・予餞会・卒業式などの思いで深い行事が実施されました。伊勢湾台風は、フロアーを水に漬けました。幾多の思い出を包み込み、消えざる事をお伝えします。

最後に、母校の益々の発展と皆様方のご健勝とご活躍を祈って新年のご挨拶といたします。

平成七年一月元日



思い出あれこれ

第三代校長 安積 正雄

私は熱田高校に昭和四十三年四月からお世話になり四年間勤めました。初代校長横木先生は八年、二代校長藤野先生は七年間と共に長い間ご在職になられ、学校運営、教育実践の遂行に當々としてご尽瘁になられ、すばらしい校風と伝統を樹立されました。そしてその真価は高い評価を受け、名声はゆるぎないものになっていました。私は一歩でも前進をとな念じ、驍馬に鞭の心境で当りました。が、何分微力のためかなわず、守成は難し、ということを変更して痛感いたしました。次に在職中の思い出を二つばかり。第一は学校紛争のこと、昭和四十四年をピークとする大争紛争は疾風怒涛の勢いで全国に吹き荒れ、遂に平穏な高校の学園にまで波及してきた。曰く体制打破、卒業式紛争、曰く集金の自由、指導拒否などと呼ばれハシカ的状況を思わせた。

とりわけ鮮烈な思い出は、昭和四十五年三月の卒業式の前日に校舎第一棟の西端の石段の下で二年の生徒二名が卒業式紛争のブラカートを掲げハシカに入ったことだ。連絡がとられ、十数名の取巻の生徒たちも騒いだので説得にこれ努め、深夜に及んでようやく中止をさせました。翌日の卒業式には薄水を踏む思いで臨みましたが、野次や怒号も聞こえたものの、他校であったヘルメット姿の乱入や証書破棄などの暴挙もなく何とか式を終了することができました。これは偏見に先生方の格段のご尽力やご父兄のご理解、同窓会のご支援があったお陰ですが、特筆すべきは生徒諸君が良識ある自主的判断で附和雷同せず、大局的立場にたつて進退を誤らず一燈を守ったことにつきます。私には今更のごとく本校の校風、伝統の力強さに頭が下がり、感謝の気持ちで一杯でした。

次は校地拡張の件、学校の校地はほぼ正方形で整った形をしていたが運動場の西南隅の一角だけが民有地で、錦につきの格好であった。そこには地下溜まりがあり、徒んだ濁水が深く溜まり、地表には愛知時計のリフトの残骸が登え又一面にニセアカシアが繁茂し不気味な危険な処になっていった。これまでに懸案事項として陳情もされてきたが地価が巨額で解決への道は遠かった。ところがその地が急に井上ゴムの所有となりそこに本社が建設されるとの情報を得た。これは一大事と急ぎよ対策を協議したが、地元有力者、同窓会、PTAの方々の深い理解があり、奔走、井上ゴムの深い理解があり、最後には、県教委、県当局のご高配、ご英断によって迂余曲折はあったものの二年越しに漸く校地として確保ができて一件落着の運びとなりました。

卒業生の皆さん、お変わりありませんか。顔見知りの方に街で出会うたり、電話をいただいたりする折々は、実になつかしい思いがします。ちよつとした消息が伝わってくるのも、よいものです。

私は、熱田高校には、昭和三十四年四月から平成五年三月まで三十四年間在職し、人生の最も充実した時期を過ごさせていただきました。あまりよい先生ではありませんでした。が、極めて劣等であったとも思っています。私なりのもの見方や知識や喜怒哀楽を、私なりに精一杯ぶつけてきたつもりです。そう思っただけを慰め、今では熱田を第二の故郷くらいに思っています。

今は毎日、私立の高校へ通っています。予想以上によい学校で、気持ちちは落ち着いていますが、一部の「勉強する」ことのできなない生徒とは、まさに悪戦苦闘の状態です。彼らは勉強ができる・できない以前の問題として、教材に立ち向かうこと、勉強することができる、厳しい態度で接すれば、何とか授業に参加させることはできます。が、広い意味でのムチと作業として形を繕う授業ほど味気ないものはありません。熱心な生徒に対する義務感も湧きます。興味づけや関心の喚起を心がけてみるのですが、特効薬をみつけれられるはずはありません。各人が努力を重ねトレーニングを積んだ後に初めて獲得できるのが、おもしろ味という味わいだからです。もう少し、こらえ性や気力がほしいものです。次の世代に伝えた価値は、たとえ彼らが嫌ってもこれを強いるのがいわゆる教育の宿命でしょう。それにしても……と、折々に頭をかかえます。

街で、若い人の柄の悪い行いを見かけるのも不愉快です。駅前狭い歩道に自転車や放置したり、人目を憚らずくわえ煙草で歩いたり、処嫌わず唾を吐いたり、あれこれ節度をわきまえない若者が目に付きます。大人社会の反映とは言え、青少年が濡されていくのは悲しいことです。お互いに不愉快に思う機会が増えるとなれば、それはたいへん大きな社会問題でしょう。熱田高校の「品格・気力・健康」という教育目標は、この古くて新しい課題を見据えていると、今更ながら感心する今日この頃です。

アメリカの教育が性悪説に基づくことすれば、日本の教育は性善説に基づくと言われています。人間の本性は善とも悪とも定め難いものですが、私は、人間とは「朱に交れば赤くなる」ものだけに、もう少し環境を整え、次の世代と真剣に格闘しなければと思います。

山田 浩
平成六年十二月五日記



卒業生への手紙

山田 浩

学校便り

熱高祭をふり返って

今年で四十二回目となった熱高祭は、「新しいことへの挑戦」、スローガン「熱田year」をもとにさまざまなことに取り組みました。一番大きく変わったことは、ブロック制です。今まで五ブロック制で行っていましたが、今年は文化祭を十ブロック・体育祭を五ブロックとして、体育祭以上に文化祭が盛りあがるよう企画しました。

文化祭では、その影響もあってか、舞台発表は質も上がり、多くの人から喜んでいただけました。また、今年は新しい試みとして、垂れ幕を作ったり、階段アート等も飾りつけも工夫を凝らし、見て楽しんでいただけるようにしました。

体育祭では、レク種目の中に学年種目を取り入れ、クラスの団結力を出せるようにし、応援合戦は昨年試みた、スタンド応援でブロックがひとつにまとまりとても激しく、そして



て感動的であった。自分自身この学校祭では感動することが多くあり、本当にこの学校祭にかかわってよかったと思えました。(文責 学校祭委員長 二年 宮崎孝之)

サッカー部便り

あと一步のところまで全国大会の出場権を手にするのができない我々ですが脈々と伝統を受け継いでおります。五月高校総体の県大会で破れ、三年生が引退しました。

一・二年生約六十名で新しいスタートをきり、レギュラー十一のポジションを競うことになりました。まずは、他校との戦いではなく自分のチームの中で生き残ることしか、皆の頭の中にはありませんでした。夏休みに入って、A軍・B軍・C軍・F軍とチームが分けられ、練習は一段と厳しさと激しさを増し、OBの方の指導も受けました。おかげでチームレベルも上がり、勝負強さも増し、サッカーに対する心構え、楽しさを学び実りある夏休みでした。また、「過去の栄光を重荷に感せず、己の成長のために、全国大会をめざそう」と先輩にアドバイスを受け発奮しました。

八月二十七日からは、全国高等学校サッカー選手権大会愛知県大会が始まり、初戦はプレッシャーを感じて苦しみましたが、三回戦・四回戦と勝ち抜いたが、一つの目標にしてきた愛知高校戦に破れました。現在は、一月の新人選にむけて、レ

ギュラーポジションを巡り激しく厳しい練習が続いて頑張っています。(文責 主将 鈴木忠平)

演劇部便り

今年度の活動は、まず七月末の地区大会公演で、二年生部員による創作作品「A lone like (over lap)」を上演。九月の文化祭は、三年生部員の引退公演を兼ねて創作作品「だからぼくはここにいて」を上演しました。会場は昨年引き続き武道場を仮設舞台にし、部員と有志の協力をえて五日間かけて設営をする。公演は、努力の甲斐もあり多数の観客動員を果し、大成功のうちに幕を閉じました。文化祭二日目「カルチャータイム」では、地区大会で上演した、創作作品「A lone like (over lap)」を一部練り直した改訂版で上演しました。会場は、武道場の仮設舞台でしたが、地区大会よりグレードアップして公演できました。今後の予定は、二回・三回の公演を予定しています。(文責 部長 石田将一)



平成六年度 教職員の移動

定期人事異動により、長年にわたる母校発展にご尽力をいただいた方が去られ名残惜しい気持ちで一杯です。厚くお礼申し上げますとともに、今後のご健康とますますのご活躍をお祈りいたします。

〔退任〕 敬称略 (在職年数)
小島 暢 (24) 数学・退官

田村 伸忠 (5) 養護・退官(定時)

〔転出〕

大矢 貞弘 (5) 事務長・松蔭高校
戸加里 妹子 (19) 国語・千種高校
椿原 和正 (9) 英語・松蔭高校

中川 容子 (5) 英語・旭丘高校
後藤 晴美 (7) 養護・昭和高校
荒木日出代 (6) 事務・千種聾学校

中城 牧彦 (6) 国語・惟信高校 (定時)

〔転入〕

伊藤 秀男 事務長・春日井商高校
渡邊 善子 国語・南陽高校

佐野 好宏 社会・日間賀内海分校
米倉 逸克 数学・明和高校
井澤 秀夫 理科・天白高校

小島 健仁 理科・児玉高校
今野 紘 英語・第二愛工高校

野田美和子 英語・鳴海高校
榑原千賀子 養護・半田商高校

小塚 幸枝 事務・海南高校
堀田 倫子 養護・新任(定時)

大藪 雅博 国語・蟹江高校(定時)



私の熱田高校

愛知県議会文教委員長

木村 隆秀(十九回生)

昭和四十六年春、胸弾ませ熱田高校の門をくぐり、早二十有余年が経ちました。当時を思い起こしますと、走馬燈のように、数々の思い出が脳裏をかすめます。

私は、一年時は英語部に所属をしました。英会話が得意ではなかったのですが、マスターするぞとの意気込みで入部したのであります。そして秋の文化祭では、シェイクスピアの「真夏の夜の夢」のディミートリアスの役を演じることになりました。

しかし、思うような発音ができず(私の発音は名古屋訛りがある?)英語部に入部したこと、また、英語劇にでることを後悔する日々でありました。そして、夏休みの練習はエスケープ。先輩や仲間の皆さんにはさぞかし迷惑をかけたことと思えます。夏休みが終わり、二学期が始まると特訓の日々でした。顧問の八谷先生の格別のご指導のお陰で無事役目を果すことができました。

ところで、世間は狭いもので、英語部でご迷惑をおかけした田中先輩と偶然お目にかかることができました。現在、先輩は愛教組の渉外部長をしておられ、県庁へお越しの時、私を訪ねてきて下さったのです。同窓とはよいものだと思えました。

二年生になり、学校へも慣れ、よく大島先生の部屋へお邪魔するよう

になりました。

家庭科の先生であられた大島先生の部屋は、職員室ではなく個室で、しかもガス等の設備が備わっていたので、即席ラーメンをよく作らせていただきました。

ある日、大島先生から、料理部に入部しないかと誘われました。当時料理部は、三年生の女子だけで、翌年の部の存続がでない状態だったのです。友人の上原君や加藤君たちと十名程の二年生男子が入部しました。現在も料理部は存続しているのでしょうか。この他にも、数々の良き青春の思い出を残させてくれた「熱田高校」に感謝しています。

今、私は、先輩や同僚の皆さんのご支援のもと県会議員として活動させていただいています。

これまでの活動の中で、高等学校教育の問題になると、母校のことが気にかかり、熱田高校はどのようになっているのかを考えてしまっています。

私の所属します県議会の文教委員会は、一年に数カ所の学校・社会教育施設等を視察することになっていきます。熱田高校は、私の父がやはり文教委員長の時、視察をして以来、その機会がありませんでしたので、昨年熱田高校を希望しましたが、

ただ今活躍中!

旧体育館をはじめ設備状況があまりよくなく、他校へ変更を余儀なくされてしまいました。

これまで、校内で、旧体育館の取り壊し等の問題は数々の議論があったようでありました。この体育館は、同窓会を始め多くの方々のご協力により建設していただいた施設ではあります。管理がきわめて難しくなっており、管理がきわめて難しくなっており、平成七年度に、この旧体育館を取り壊し、その跡地をテニスコート等として整備し、併せて調理場を移転し、駐車場を整備することを、県当局に強く働きかけているところであります。

ところで、合計特殊出生率が一・四五となり、少産化が進展する中で、教育制度の在り方が問われるようになり、私立高校では、学校の生き残りを取り組んでいます。今後は公立高校づくりを進め、代に即応した学校づくりを進めていかなければいけないと考えます。

熱田高校もその例外ではありません。生徒の多様な個性に対応し、特色ある学校にしていくことが大切と思われまます。

そこで、私が夢見る熱田高校像を記させていただきます。

(一)設置課程…全日制・定時制・通信制を設置し、定時制・通信制は、単位制とする。
(二)設置学科…全日制・通信制は普通科を設置し、定時制には総合学

科を設置する。

(三)全日制は習熟度別クラス編成とし、定時制は昼間三部、夜間一部の四部制とする。

(四)生涯学習講座…社会人や地域における多様な学習機会の設備のために、生涯学習講座を開講する。学校開放講座…パソコン入門英会話

大学開放講座…名大・県大・県芸大の公開講座

(五)部活動…全員参加とし、短時間の活動で練習密度を濃くし、また、成果を上げるため、指導者の招聘も考える。

(六)学校行事…先例や慣例にとらわれないこと、創意をこらし、また、地域の参加も可能とする。

(七)指導方針…教師と生徒との心の通じ合う対話による指導を行う。二十一世紀には以上のような熱田高校に変身していることを夢見ています。同窓の皆様は如何でしょうか



同窓短信

雑感 一に健康、二に友達

「頑張っている同期生」として、会報で紹介しようと思っていた医師の西秀樹君が急逝した。亡くなる十日程前に病院からではあったが、電話のむこうで元気な声を聞かされただけに大変なショックを受けた。しかし、彼は仕事から自分の病の重大さを認識していたようだ。タバコの吸い過ぎで肺を患くしたのでもなく、酒を飲みすぎて肝臓を患くしたのではない、何も悪い事をしていないのに「それが悔しい」、さあ、これからだと言う年齢だけにやり切れない気持ちで話してくれた彼の言葉が忘れられない。

医師としての人の命を助ける立場の彼が早く逝き、つまらない事で人の命を奪ってしまう悪い輩の方が案外長生きをしている。世の中割り切れない思いがいたします。

常々、私は「一に健康、二に友達」云々と言っていた。

大抵の方は、人生の後半に楽しみを見いだすのが普通だ。一生懸命に働き、その後、自分の趣味などに思う存分満喫しようとするが、なかには例外的に若い時に大いに発奮される方もいる。いずれが良いかは別として、どちらも健康であつて初めてでき得る事であると思う。ところが皮肉にも、この健康というのは病氣や病人になつて、最も良く理解でき

ることなのだ。身近な友達を一人無くし非常に残念な出来事であつたが、健康と友達という二つの事柄を深く考えさせられたものだ。會員名簿も年々、歯抜けになり寂しい事である。同期生・同窓生の皆様、お身体を大切に活動されることを祈っています。

(七回生 小林勝治)

サッカー部ガンバレ

熱田高校には野球部がなかった。男子生徒が当時の学校長に談判に行くくと、「わが校の校技は、サッカーなので野球部はいらない」との返事でした。始まったリーグ人気とうらはらに、活躍が聞こえてきません淋しく思います。現役諸君の活躍に期待します。ガンバってください。

(二十六回生 福村秀代)

卒業してはや十年

私達は、卒業してからちようど十年になりますが、特に同期会を開いているわけではないのですが、高校時代の同級生同志の結婚式の二次会には百人程集まる機会が幾度もありました。語る言葉は、青春時代を過ごした高校生活三年間の思い出話に「華」を咲かせています。集まるたびに「あのころが一番楽しかった」という声が多く聞かれます。そして、「米年あたり皆で集まろうよ」とのかげこえも出ています。

(二十九回生 大矢雅代 旧姓・林)

15期会(昭和45年卒業)予告

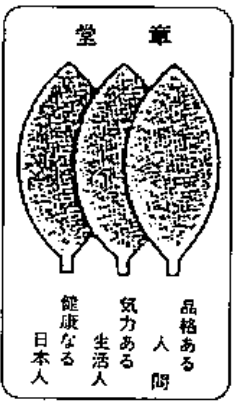
下記のように開催の予定です。詳細は追つてご連絡申しあげます。

日時 平成7年8月13日(日)
会場 愛知厚生年金会館
(二次食の予定等各クラス計画してください)
世話人代表 石田 直城 052-503-1038
神谷 和雄 052-565-1288



小島暢先生 退職祝賀会

二十四年間に渡り、本校の教育にご尽力ご指導頂きました。小島先生ご夫妻をお招きして、平成6年四月一日、退官祝賀会をルブラ王山で、有志の新旧教職員とPTA役員約七十余名のご参加を得て、盛大に祝賀の宴が催されました。先生は、生徒はもちろんのこと教職員に対しても、常に暖かく温厚に接し導かれました。今後は愛知工業大学名電高等学校の専任教諭として、第二の人生を歩まれます。先生の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。
(文責 二十回生 高岸 郁夫)



品格ある 人間
気力ある 生活人
健康なる 日本人

著者紹介

第九代 日下英之 校長

佐屋路は江戸時代に、東海道の脇街道として重要な役割を果し、熱田で東海道と別れ、岩塚・万場・神守・佐屋の宿場を経て、三里の渡しで桑名に渡り、再び東海道と合流しました。いわば東海道七里の渡しの陸路のバイパスともいえるべき街道でした。

本書は、佐屋路に光をあて、熱田から三里の渡しまで、歴史に埋もれた宿場の様子を探り、沿道各地の歴史を訪ね、往時の佐屋路の姿を再現しようとしたものであります。

時あたかも、東海道路ネサンス運動もおり、町なみ保存や史跡の保護など、歴史的環境や文化遺産の継承が叫ばれています。本書は街道史・地域史の側面から、それを支えるものであります。また文化財探訪を兼ねて、旧街道を歩く人々には、よき伴侶となることでしょう。

「体裁」
A五判 二一六ページ
写真・図版 八〇点
七宝出版・定価一八〇〇

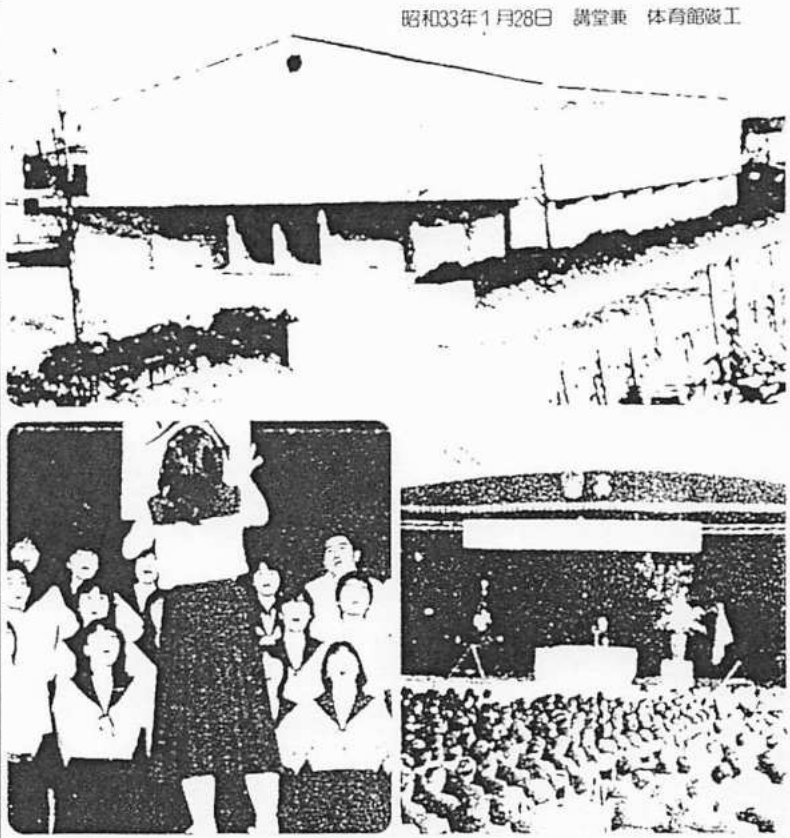


昭和33年1月28日 講堂兼 体育館竣工

名簿住所判明率・会報基金集計

全日制	卒年	卒業生数	判明者	基金納入	累計
1	31	159	133	54	／
2	32	163	131	30	84
3	33	262	203	59	143
4	34	249	226	64	207
5	35	268	239	70	277
6	36	272	242	66	343
7	37	386	304	59	402
8	38	387	275	50	452
9	39	365	290	80	532
10	40	384	237	36	568
11	41	547	314	40	608
12	42	598	360	68	676
13	43	549	327	55	731
14	44	522	261	47	778
15	45	491	351	65	843
16	46	468	287	50	893
17	47	451	298	47	940
18	48	447	303	41	981
19	49	447	324	45	1026
20	50	413	279	41	1067
21	51	451	365	49	1116
22	52	448	345	44	1160
23	53	445	373	46	1206
24	54	446	377	41	1247
25	55	448	367	28	1275
26	56	445	402	39	1314
27	57	447	412	29	1343
28	58	449	419	46	1383
29	59	451	404	23	1412
30	60	449	418	38	1450
31	61	468	444	30	1480
32	62	459	433	26	1506
33	63	468	457	47	1553
34	平元	470	456	47	1600
35	2	469	461	34	1634
36	3	462	460	61	1695
37	4	471	471	50	1745
38	5	463	463	50	1795
39	6	443	443	-	-
小計		16480	13354	1795	-
定時		970	765	25	1820
総計		17450	14119	1820	-

会報4号支出額	金額	内容
発送郵送費	838,488円	(13,524通)
その他郵送費	65,767	幹事案内他
会報制作諸費	1,021,784	印刷費・他
寄稿御礼	62,000	図書券
諸経費	78,247	事務用品・コピー他
総計	2,066,286円	



会報基金のお願い

★会報基金は会報の継続を計り、皆様の情報を会員に知らせる手段です。平成六年度は左記の様にまとまりました。七年度もぜひご協力ください。協力会員名の整理のためにお手数ですが、卒業回生(年度)旧姓をぜひお書き込みください。

一、会報基金「千円」は払込通知票で郵便局より送付ください。

一、口座番号・加入者

〇〇八八〇一八一四三八四八

愛知県立熱田高等学校同窓会

事務局だより

★会員名簿の販売について、残部が百冊程あります。ご希望の方は、現金書留で五千五百円(送料込)同封のうえお申し込みください。

★同窓会報六号の発行は、九月下旬の予定です。同窓短信・催し物の予定などの原稿を、左記要領の様式で事務局へ投函ください。

●題名・字数(十六字×三十行)

●写真・回生・文責者名

訃報

一回生 村瀬 勝美 平4・4・24
 五回生 西山 孝朗 平7・1・9
 七回生 西 秀樹 平6・4・26
 九回生 外山 道子 平5・1・31
 (旧古田)

★平成七年三月、会員名簿原本の修正作業をしますから、幹事会員並びに会員の皆様で、現在発刊の名簿に変更を生じている会員の方をご存じでしたら、左記の事務局へお知らせください。

(事務局住所・宛名)

〒四五六 熱田区千年一十七一七十一 愛知県立熱田高等学校同窓会事務局

★題字 初代書道教諭 名郷紫山先生

ご逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。お知らせいたします。(係より)

クラス幹事の皆様へ

訃報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。

